

夏休みの効果的な過ごし方（その2）

開倫塾 塾長 林 明夫

1. はじめに

中学3年生にとり、高校入試までもう120日余りとなりました。12月の初旬から中旬にかけて私立高校学業特待試験が行われるからです。その手前で9月～10月からは毎月のように学文館や下野新聞社の模擬試験があったり、10月には、実用英語検定試験、各中学校の中間試験が行われ11月下旬から12月初めには期末試験が実施されます。開倫塾の定評ある公開模試や私立学業特待模試も各々10月と11月に実施されます。以前と比べ幾分少なくなったとは言え、試験ばかりなので、2学期は9月以降全く手が抜けない日々が12月の私立高校学業特待試験まで続きます。

8月という月は、最も忙しいと言われる2学期の準備のためであると自覚することが大切かと思えます。では、8月の勉強をどのようにしたらよいか、今回、前回に引き続き夏休みの後半の勉強方法についてお話しいたします。

2. 受験には頭が良い、余り良くないは全く関係ない。気力を充実させ体力の限り勉強するかどうか が大事。

お盆中の過ごし方

よく考えれば、みんなが遊んでいるお盆中に一日中勉強すれば、遊びほうけている子供と比べて実力が身につくことはおわかりになると思う。片方はお盆中一日中遊びほうけ、片方はお盆中一日中勉強すればどうなるか。一日中勉強した人がどんどんと力をつけることは当然であります。力をつけた科目だけでもいいからお盆特訓に参加することをおすすめします。テキスト予習ができれば最高。もし予習ができなくても、授業後十分に復習をし、不確かであったところを確かにするだけで随分と実力が身につきます。

お盆後一週間の過ごし方

各教科とも中学3年生で最も難しいと言われている2学期の予習をすることができれば非常にスムーズに2学期に入れます。お盆後行われる開倫塾の8月分授業は中3の1学期までの復習も入れながら2学期の予習が中心ですので、キチンと予習や復習を好きな科目だけでもよいから実行すると驚くほど中学3年間で最も難しいと言われる2学期の内容が楽に頭に入ります。どんなに難しくなってもあわてません。どうか歯をくいしばって、毎日の授業の予習と復習を1科目だけでもいいですから確実に行ってください。

夏休みの最終週の過ごし方

中学3年生で、実用英語検定の4級または、3級に合格していない人は、10月の英検合格を目指し8月最後の週から勉強を開始してください。10月に入るとテストのラッシュで、とても英検の勉強をしている余裕がなくなります。8月最終週から本格的な英検のための学習をスタートさせ、9月下旬までに完成させてしまうことが最も大事です。英検の3級4級を目指して8月下旬から9月下旬までの40日間弱勉強することは、英検合格に直結するだけでなく、英語の集中学習をここで済ませられますから、飛躍的に英語の実力を高めます。中間テストや期末テストだけでなくいろいろな模試、ひいては私立学特試験や県立高校入試までよい影響を及ぼします。中3のうちに4級、4級に合格している方は3級にするよう、8月下旬から9月末日まで全力を傾けてください。

3. おわりに

10月以降は本当に「超多忙」な日々が続きます。9月は英検に加え理科また社会の勉強も確実に終了させねばなりません。ただあせることはないのです。要は希望する学校の入学試験に合格すればよだけのことで、好きな科目からあせることなく集中的に学習を積み重ね、得意な科目にしていくことが第一。好きな科目をたくさん勉強して得意な科目にすることがこの時期は大切です。

開倫塾の先生方は一所懸命に皆さんをお教えます。皆さんも、どうか一日も早く自分自身の勉強の方法を見つけ出し、一所懸命勉強なさってください。

「知恵ある者は知恵を出し、知恵なき者は汗を出せ。」受験には、頭が良い、あまり良くないは全く関係ありません。やったかやらなかったか、ただそれだけです。